

## 第27回ちゅピCOM放送番組審議会議事録

日時：2024年3月21日（木）10:00～11:30

場所：中国新聞ビル8階 中国経済クラブ

出席委員：6名／委員総数7名

山下聡子（委員長）、瀨村郁子（副委員長）、石坪隆雄、河野英志（欠席）、  
船附洋子、中村由利江、柳迫長三（敬称略）

社側出席：山本慶一郎（代表取締役社長・CEO）、中谷博之（代表取締役副社長・COO）

土井俊裕（取締役 CFO）

藤本裕輝（メディア事業本部 編成制作部長）

### 【報告事項】

#### 1. ちゅピCOM11chの現状について

山本社長が、ちゅピCOM11chの2023年4月から2024年3月までの取り組みの概要を報告した。制作スローガンのひとつである「広島のスポートを応援します」を実践すべく新しく秋季高校野球広島県大会を放送したこと。近年危惧される豪雨災害に対応できるよう行政と連携し、データ放送に情報カメラの映像を増やすなど拡充策を説明した。グループ会社の中国新聞紙面への番組告知掲載も活用しながら、より地元に着した番組を拡充していくと説明した。

### 【審議事項】

#### 2. 審議番組「コミュニティチャンネルの内容、編成」について

ちゅピCOM11chの放送内容や番組編成について審議した。

審議内容：委員からの主な意見は次のとおり。

##### ① 秋の高校野球中継

- ・青少年の健全育成にも貢献する。
- ・出身校や地元の高校が出ていて試合を見た。
- ・今後も継続してほしい。
- ・他のスポーツの中継もしてほしい。

→高校サッカーの中継などを予定していることなどを説明

##### ② 新春特番「新春カープドリーム対談 藤井彰人ヘッドコーチ×達川光男」

- ・対談の内容は野球についてだが、一般人にも共通する部分や仕事でのマネジメントに役立つ話があって興味深かった。

##### ③ 「ひろしま神楽～次世代へつなぐ～北広島町の阿坂神楽団」

- ・GHQの関わりや新舞と旧舞の違いなどの歴史解説のほか、裏方も取り上げていた。表面的な話だけでなく、深掘りするちゅピCOMらしい番組制作がおこなわれており、

見応えのある内容であった。

- ・ 4 K 撮影で映像が綺麗で見栄えがした。
- ・ 最近、神楽を見ていなかったが番組を見て、行きたくなった。

④ 防災関係について

- ・ データ放送での行政（県・国土交通省）から提供を受けた河川情報やカメラ映像が多く見られるようになり、災害の時などに役にたつ。
- ・ 宮島の住人は、連絡船が大切な交通手段。台風の時などちゅピCOMの情報カメラをずっと見ている。
- ・ 防災士が（番審委員に広島市防災士ネットワークの代表世話人）、災害発生時や災害が起こりそうな時にちゅピCOMに情報の提供を協力したい。

⑤ その他

- ・ 4月からの新編成に大いに期待する。「おしん」の放送は楽しみ。
- ・ 「おしん」などの番組をきっかけに111chを知ってもらうのは良いこと。
- ・ 「まちかどスタジオ」に出演して、より親しみやすいメディアだと感じた。番組内容だけでなくスタッフの対応も懇切丁寧で親しみが持てた。
- ・ 番組のPRをさらにすると良い。
- ・ 担当の営業スタッフには大変お世話になっている。特にインターネット関連で困ったときにすぐに対応してくれる。ちゅピCOMの顧客対応には感謝しているしこれからも期待する。

以上。